

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒100-0005

住所 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号 東京共同会計事務所内

氏名 RubiconTK2合同会社 印

代表社員 Rubicon一般社団法人2 職務執行者 千葉篤志

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	RubiconTK2合同会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市幸区堀川町580-16		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	68	不動産取引業
主たる事業 の内容	主として管理事務を行う本社等		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,527 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t - CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	川崎テックセンター防災センター
		所在地	川崎市幸区堀川町580-16
		電話番号	044-533-3992
		FAX番号	044-533-3790
		メールアドレス	KTC@nomura-bm.co.jp
受付欄	特記事項	事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成23年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 のある欄は、該当する 内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標排出量
排 出 量	(実) 5,093 t-CO ₂ (調) 4,149 t-CO ₂	(実) 5,199 t-CO ₂ (調) 4,248 t-CO ₂	(実) 4,406 t-CO ₂ (調) 3,580 t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 4,940 t-CO ₂ (調) t-CO ₂
削 減 率		(実) -2.1 % (調) -2.4 %	(実) 13.5 % (調) 13.7 %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原 単 位 の 活 動 量	単 位				
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度の値
排 出 量 原単位等の値		0			
削 減 率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第 1 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季の猛暑により、空調・熱源電力量とガス使用量が大幅に上昇しました。 ・計画停電の影響により、非常用発電機運転時間が増えて A 重油使用量が増加しました。上記理由により温室効果ガスが増加しました。
第 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・節電の影響により、特に夏場において、建物全体の電力使用量が減少しました。上記理由により温室効果ガスが減少しました。
第 3 年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--	--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	<p>推進体制の確立 主要設備等の保全管理 事業所等の空調管理 照明設備の運用管理</p>
	第 1 年度	<p>事業者より環境管理責任者および事業所より環境管理者の任命を実施。 対策責任者の任命を実施し、各種役割分担や対策目標の明示を行う。 環境管理者は、排出量の把握を行い、都度、環境管理責任者へ報告するものとする。 管理マニュアルを作成し、エネルギー管理を円滑に行うものとする。 管理標準を策定し、事業所内において、運用中。 熱源機器の冷却塔の更新</p>
	第 2 年度	<p>管理標準に基づき、日常の運転監視の中で空調・換気設備の運転制御を見直し、消費電力を削減した。空調設備においては、設定温度を高くし、空調機の運転時間・消費電力を削減した。熱源機器の冷却塔の更新を実施した。照明設備において、不要な蛍光灯を間引きし、消費電力を削減した。</p>
	第 3 年度	
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">・事業者並びに事業所関係者向けに温暖化対策についての教育を実施するものとする。・産業廃棄物の減量化・分別化の推進を図るものとする。
第1年度	・各テナント内 廃棄物収集場所に、ゴミ分別のポスターを掲示し、注意喚起を実施。
第2年度	・事業所関係者に、節電に関するアンケートを行い、節電意識を高めるとともに、節電に関するアドバイスを行った。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績(排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	3,993	t-CO ₂
(調)	3,983	

(2) 事業所等单位(第1号、第2号該当者等)

ア 年間の原油換算I礼キ^{*}-使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎テックセンター	川崎市幸区堀川町580-16	6800	主として管理事務を行う本社等	3,993 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算I礼キ^{*}-使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算I礼キ^{*}-使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位(第4号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が3,000t以上(二酸化炭素の場合はI礼キ^{*}-使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が3,000t未満(二酸化炭素の場合はI礼キ^{*}-使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の数

事業所数	
------	--